



第3回イチヨウ講演会

参加費
無料

「イチヨウが紡いできた物語-歴史、伝承、DNA 分析からみた伝来・伝播について」



主催：祖父江町商工会
祖父江イチヨウ研究会
名古屋文理大学

後援：稲沢市観光協会
稲沢市教育委員会

日時：2025年 11月29 日（土） 11:40～14:10
（開場 11:40～）

場所：J A 愛知厚生連稲沢厚生病院・南館4階講義室

参加：無料・事前登録制 定員50名程度（当日参加も可能）

事前申込：11月27日（木）17時まで

対象：ご興味やご関心のある方

- ・ 学生ポスター展示（名古屋文理大学 吉田洋ゼミ） 11:40～12:40
（ 同 内田英伸ゼミ）
- ・ 開会の辞
吉田 洋（名古屋文理大学教授） 12:50～13:00
- ・ 講演「イチヨウが紡いできた物語—歴史、伝承、DNA分析からみた伝来・伝播について」 13:00～14:00
佐藤征弥（徳島大学教育教授）
- ・ 閉会の辞
澄川隆昭（祖父江町商工会会長） 14:00～14:10
- ・ 参加申込：代表者の住所・氏名（フリガナ）・年齢・メールアドレス
（FAX番号も可）・学校または職業・参加人数を記入の上、FAX（0587-
21-2844）またはEメール（renkei@nagoya-bunri.ac.jp）で名古屋
文理大学 内田英伸（電話0587-23-2400）へ、会場に余裕がある限り
当日参加も受け付けます

講演内容

イチョウは、非常に古い種であり、古生代後期・ペルム紀の2億8000万年前頃には出現し、新生代の第三紀までは日本でも化石が出ます。しかし、およそ7000万年前から次第に減少し、絶滅寸前になりました。中国の一部の地域に卡ろうじて残り、11世紀の中頃になって初めて記録に登場します。日本には南北朝時代に伝来したと考えられています。そして江戸時代に長崎の出島からヨーロッパに伝わりました。今や、イチョウは世界各地に植栽されていますが、イチョウは人が管理しない所には残りません。したがって、イチョウは人の歴史と強く結びついています。観賞用として、食用・薬用として、街路樹として、あるいは宗教と結びついて、イチョウは各地に植えられています。イチョウが世界中に広がっていった様子は、ちょうどイチョウの葉の形を思いおこさせます。本講演ではイチョウが紡いできた物語-歴史、伝承、DNA分析からみた伝来・伝播について、文化とのつながりを交えながら紹介します。

講師紹介

佐藤征弥先生（徳島大学生物資源産業学部 教育教授、理学博士）

（学歴）

1985年：東北大学理学部生物学科卒業

1990年：東北大学大学院理学研究科博士後期課程修了（博士（理学））

（職歴）

1990年：筑波大学第2事務区文部技官

1992年：科学技術庁科学技術特別研究員

1995年：農水省農業生物資源研究所COE非常勤研究員

1995年：徳島大学総合科学部講師

2023年：徳島大学生物資源産業学部教育教授

著作・発表

主な著作と発表

- ・「人と植物の関係史および植物保護に関する研究」により康楽賞受賞(2024)
- ・樹にまつわる伝説・伝承-日本と朝鮮半島の比較および樹種による違いについて、『TREE DOCTOR』(2023)
- ・『木の歴史、現在、未来が見える とくしま木育ハンドブック』『とくしま木育ハンドブック』、徳島県(2023)
- ・DNAから探る北辺のイチョウ『生命の科学、遺伝』(2020)
- ・『Flora Nipónica : no Jardim Botânico de Lisboa』, Associação Wenceslau de Moraes(2017)
- ・『東北・北海道のイチョウ-イチョウの生物学的・文化的神秘を探る』、秋田文化出版株式会社(2016)
- ・日本と朝鮮半島の巨樹-樹種および巨樹にまつわる伝承の比較、『植生史研究』(2012)
- ・DNAからみたイチョウの日本への伝来・伝播、『TREE DOCTOR』(2009)

アクセスマップ



（グーグルマップより）